



NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会

MANO a MANO

～「mano a mano」とはスペイン語で「手から手へ」という意味です～

会員総数……………820人
 医師……………161人
 コメディカル……………799人
 【管理栄養士紹介登録数 45人】
 平成22年5月20日現在

《目次》

- ◆「チーム医療推進協議会に参加して…」
 西村 一弘先生……………Page 1
- ◆研究会の実施報告・研究会のお知らせ他……………Page 2-4
- ◆事務局からのお知らせ……………Page 4

『チーム医療推進協議会に参加して…』

当会理事 緑風荘病院管理栄養士 西村一弘

昨年の春に厚生労働省の医政局が主導で、平成22年の診療報酬改定に向けて、チーム医療の検討会を発足させました。時を同じくして、ジャーナリストの福原さん（朝日系のライターなど）や放射線技師会会長の北村先生・理学療法士会会長半田先生等が中心となり、12の団体（日本病院会、日本看護協会、日本病院薬剤師会、日本栄養士会、日本臨床検査技師会、日本放射線技師会、日本理学療法士会、日本MSW協会など）＋患者会（山梨まんまくらぶ：がん患者の患者会）が参加して、「チーム医療推進協議会」と云う団体を発足しました。私も日本栄養士会からこの協議会に参加して広報ワーキングに入り、活動しています。このチーム医療推進協議会是一个一つの職能団体の力は弱くても、複数の団体が結集して、患者主体の医療を国政に提言することや、チーム医療の質の向上などを目指し、患者主体の医療の実現に向けて活動をはじめました。

厚生労働省も協議会の行動を認めて、この会の代表である放射線技師会の北村会長が、チーム医療推進協議会の代表という立場で、昨年秋の政権交代後の新中医協メンバーに選出されました。そして、今回の診療報酬改定の際には協議会からの意見をとりまとめて提言し、改定内容にも大きな影響を与えることができました。また、厚生労働省内のチーム医療の検討会にも北村会長から提言をされ、この4月30日付でその提言内容が、ほぼそのままの形で厚生労働省医政局長からの公文書（医政発0430第1号）として、全国の都道府県知事宛に配信されました。その内容は、医療スタッフ（この協議会ではコメディカルやパラメディカルという呼称はせず、医療スタッフという呼称をしています）の業務の拡大が主なものになっています。（詳細は厚生労働省のホームページをご覧くださいと思います）

今後は糖尿病のチーム医療に対する適正な評価について、私の方からこの協議会を通して厚生労働省医政局への提言まで、結び付けたいと考えています。西東京地域では20年以上前からチーム医療を実践してきたわけですから、その実績を示して糖尿病領域でのチームに対する診療報酬などへの評価が実現されれば、各医療機関での糖尿病療養の専門医療スタッフ（CDE等）が充実して、多くの患者さんのために有益な医療が提供できると思いますので、皆様のお知恵をお借りして積極的に働きかけたいと考えています。そのためのご指導をいただきたいと思っておりますので、宜しく願いいたします。



研修会等の実施報告

第7回 西東京糖尿病心理と医療研究会

平成22年3月13日(土)武蔵野スイングホールにて実施されました



代表世話人 朝比奈クリニック 朝比奈 崇介

去る3月13日武蔵野スイングホールにて第7回西東京糖尿病心理と医療研究会を開催いたしました。今回は京都医療センターの坂根直樹先生をお招きしてインサイトに関するワークショップをしていただきました。インサイトというのは人を大まかに「論理的か感情的か」というと「内向的か外向的か」という軸の大きな2つの軸によって人を分類し、外向かつ論理的な人を赤、外向かつ感情的な人を黄、内向的かつ論理的な人を青、内向的かつ感情的な人を緑というように分類します。その各々の型の人間の長所、欠点を認め、その型の人に合った効果的なアプローチ、効果的な声かけの方法を勉強しました。その後実際に赤色の患者を緑色の薬剤師が怒らせる風景、赤色の患者に赤色の薬剤師がテキパキ投薬の説明を済ませる風景、黄色の患者への黄色の栄養士の指導が脱線する風景、とうまくいく風景を演じてみせ、そのうまくいくコツ、失敗する理由などをみんなでワークをいたしました。坂根先生の上手な話術に引きずられるように皆さんがワークに溶け込んでいき、とても楽しいワークショップとなりました。



多摩糖尿病教育セミナー

平成22年4月19日(月)立川パレスホテルにて実施されました

138名の先生方が参加され
大成功を収めました。

当番世話人 多摩センタークリニックみらい 宮川 高一

多摩丘陵病院に糖尿病専門医の佐々木博先生が赴任され、私ども南多摩地域では「南多摩糖尿病教育研究会」を3回にわたり開催してきました。そのなかで先生の「女性と糖尿病」の講演がすばらしく、ぜひNPO法人西東京臨床糖尿病研究会の方々にお聞かせしたいと考え、企画させて頂きました。佐々木博先生は東京慈恵会医科大学で産婦人科専門医を秋田大学内分泌代謝科で糖尿病専門医を取得されたユニークな経歴の先生です。

4月19日に立川パレスホテルで開催させて頂いた研究会には138名の先生方が参加されました。最初に杏林大学看護部で助産師でも、糖尿病認定看護師でもある高橋久子先生に「糖尿病合併妊娠および妊娠糖尿病患者の妊娠中と産後の療養指導ポイント」の講演をして頂きました。1型糖尿病を含め、妊娠時の様々な問題、血糖や体重をどう管理していくか、心理面を含めどうサポートしていくかを話して頂きました。佐々木博先生からは「糖尿病を持つ女性へのアプローチ法」ということで、生理前後での女性ホルモン(エストロゲンとプロゲステロン)の変動による血糖コントロールの変動、妊娠時のインスリン抵抗性の増加の機序、合併症のある患者さんの妊娠の適応と予後、など妊娠前後の女性へのアプローチ法について詳細に学びました。また更年期の女性については、HRT(ホルモン補充療法)のエビデンスについて、経口エストロゲンは問題だが、エストロゲン貼剤では問題がない可能性があることなど最新の知識を得ることができました。



当研究会は運動療法や心理についての研修会もあり、糖尿病療養指導の幅広い分野を網羅していますが、いままで「女性」を中心にした研究会はありませんでした。人口の半分を占める「女性」と「糖尿病」について、今後も引き続き学んでいく研究会を継続できたらと考えています。

なおこの研究会は、NPO法人初めての企業との共催の直接事業として行ったことを付記しておきます。

研修会等の実施報告

第20回 武蔵野糖尿病医療連携の会 平成22年4月24日(土)にザ・クレストホテル立川にて開催されました



第20回武蔵野糖尿病医療連携の会は「糖尿病外来診療のリスク管理」をテーマに、4月24日(土) ザ・クレストホテル立川にて開催されました。

演題1は「低血糖の予防と対策」という演題で、立川相互病院 住友秀孝先生より、報告されている低血糖と予防対策についてお話をいただきました。演題2は「患者さんに伝えるシックデイ対策」という演題で、都立多摩総合医療センター辻野元祥先生より、施設での具体的な例を示していただきながらお話をいただきました。演題3は「トラブルを回避するための糖尿病診療Q&A」ということで、かたやま内科クリニック 片山隆司先生より、事前アンケートによる結果をもとに様々な課題に対して明確にお話いただきました。参加者は医師40名、コメディカル56名、計96名のご出席をいただき盛況の中無事閉会いたしました。



次回は、10月23日(土) 開催予定です。この研究会はありきたりのテキストブックでは飽き足らない皆様に実践に即したすぐに役立つ情報をお届けすることを目指しております。次回も多数の医師およびコメディカルの先生のご参加をお待ちしております。

研究会他のお知らせ

◆ 直接事業 ◆ 間接事業 □ その他

◆ 平成22年度 西東京糖尿病療養指導プログラム (※お申し込みが必要です)

テーマ：療養指導における新たな展開

開催日：平成22年7月18日(日)

場 所：拓殖大学 八王子キャンパス

(JR中央線・京王線高尾駅下車バス5分または徒歩20分)

参加費：6,000円 (昼食代含まず)

<教育看護系>第7回 西東京糖尿病教育看護研修会

<病態栄養系>第7回 西東京病態栄養研修会

<薬 剤 系>第7回 西東京薬剤研修会

後半は3領域合同プログラムを開催いたします。

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：10単位

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第1群>

看護系：4単位 (日糖教看学-共催第100428-1号)

病態栄養、薬剤系：2単位申請中

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第2群>：2単位申請中

※日本糖尿病療養指導士の研修単位については<第1群><第2群>のどちらか一方のみを取得できます。

参加受付：当会HP参加申込み頁よりお申込ください。 <http://www.nishitokyo-dm.net>



研究会他のお知らせ

◆ 直接事

◆ 業

□ 間接事

◆ 西東京臨床糖尿病研究会平成22年度総会・第47回例会（※お申込は不要です。）

テーマ：「変革する糖尿病の治療」

開催日：平成22年6月5日（土）

総会 15：15～15：45（開場15：00）

例会 16：00～19：30

場 所：国分寺Lホール（JR中央線「国分寺駅」下車徒歩0分）

参加費：会員無料 非会員：1,000円

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：7単位

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：＜第2群＞1単位（認定番号10-140）

※詳細は当会ホームページをご覧ください <http://www.nishitokyo-dm.net>

◆ 第21回 武蔵野糖尿病研究会（※お申し込みが必要です。）

開催日：平成22年6月12日（日）

場 所：武蔵野赤十字病院 山崎記念講堂

（JR中央線「武蔵境駅」南口徒歩10分）

参加費：500円

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：2単位

参加受付：当会HP参加申込み頁よりお申込ください。

◆ 第9回 西東京CDE研究会総会（※お申し込みが必要です。）

開催日：平成22年8月7日（土）

場 所：府中グリーンプラザ2階 けやきホール

（京王線「府中駅北口」下車徒歩1分）

参加費：1,500円

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：7単位

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位＜第2群＞：1単位申請中

参加受付：当会HPの参加申し込み頁よりお申込ください。

※詳細は当会ホームページをご覧ください。 <http://www.nishitokyo-dm.net>



事務局からのお知らせ

◆◆事務所移転に伴う一時業務の休止について◆◆

国分寺市の駅前再開発計画に伴い、NPO法人西東京臨床糖尿病研究会は事務局の移転をいたします。移転先：国分寺市本町2-23-5 コミヤビル(仮称) 8F 電話・FAX番号は変更ございません
つきましては、一時的に業務を休止させていただきます。

ご迷惑をおかけすることとなりますが、何卒ご理解の程、宜しくお願い致します。

◎事務局移転・業務休止日：2010年6月23日（水）

NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会 事務局

〒185-0012 国分寺市本町3-10-22 リエントプラザ 402

TEL：042(322)7468 FAX：042(322)7478

<http://www.nishitokyo-dm.net> Email:w_tokyo_dm_net@ybb.ne.jp

